

## 第 57 回全国高等専門学校体育大会柔道競技実施要項

1. 主催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会柔道競技専門部  
香川県柔道連盟  
香川高等専門学校高松キャンパス
3. 後援 文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人全日本柔道連盟、  
香川県、香川県教育委員会、公益財団法人香川県スポーツ協会、高松市、  
高松市教育委員会、公益財団法人高松市スポーツ協会、NHK 高松放送局、四国新聞社
4. 大会期日 令和 4 年 8 月 27 日(土)・28 日(日)
5. 大会会場 高松市総合体育館 第 1 競技場  
〒760-0066 香川県高松市福岡町四丁目 36 番 1 号  
TEL 087-822-0211
6. 競技日程

8 月 27 日(土)	11:00~11:50	計量
	12:30~	代表者会議
	14:00~	開会式
	14:20~	男子団体試合
	競技終了後	団体戦表彰式
8 月 28 日(日)	8:20~8:40	(特別計量)
	9:00~	男子個人試合 女子個人試合
	競技終了後~	閉会式

### <特別計量について>

インターンシップ、就職試験、受験等のため、1 日目の計量に参加できない者、また、個人戦のみ参加の学生で学生負担を減らす観点から、前泊が必要となる遠方からの参加に限り、開会式への参加を免除とし、特別計量対象者とする。

なお、その際は事前に理由書を開催校へ提出し、許可を得なければならない。

### 7. 競技種目 (1) 団体試合

参加チーム数 各地区代表 計 12 チーム

(北海道 0、東北 2、関東信越 2、東海北陸 2、近畿 1、中国 1、四国 1、九州沖縄 2、開催校 1)

(2) 男子個人試合

参加人数 各地区代表 各階級 16名

(北海道 1、東北 2、関東信越 2、東海北陸 2、近畿 2、中国 2、四国 2、九州沖縄 2、開催校 1)

体重区分・66 kg級・73 kg級・81 kg級・無差別級

(3) 女子個人試合

参加人数 各地区代表 各階級 3名以内

(北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州沖縄の8地区)

体重区分・52 kg級・57 kg級・63 kg級・無差別級

ただし、選手自身の階級よりも1階級重いクラスに出場することができる。

8. 参加資格 高等専門学校の学生で全日本柔道連盟に登録加入した者

9. 参加制限 (1) 団体試合

① チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、合計10名以内とする。

② 選手の変更は正当な理由がある場合のみとし、所定(競技申込様式5)の手続きをした上で、代表者会議において、協議の上認める場合がある。

(2) 個人試合

① 選手の変更は原則認めない。ただし、怪我などの理由により事前に出場できないことが明らかな場合は、同地区次点の選手による変更を認めることができる。選手変更の申請期日は、令和4年8月9日(火)正午とする。

② 計量に合格しない者は出場できない。

選手の計量は、試合前日計量とする。ただし、前日計量に間に合わない正当な理由が認められれば、試合当日の計量をすることができる。計量は、いずれも、1回の時間帯を選択して行う。

10. 競技規定 (1) 試合は、「国際柔道連盟試合審判規定」及び「全国高等専門学校柔道専競技門部運営申し合わせ事項」によって行う。

(2) 「優勢勝ち」の判定基準

ア. 団体試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。

チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。代表戦における判定基準は「技有」又は「僅差」以上とし、その延長戦の判定基準は、個人試合に準ずる。

団体戦の代表戦以外の試合において、「同時一本」の場合は「引分」とし、「両者反則負」の場合は両者負けとする。

イ. 個人試合の判定基準は、「技有」又は、「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。

技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。

延長戦による判定基準は「技有」以上の得点、又は「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。

個人戦又は団体戦の代表戦において、「同時一本」もしくは累積による「両者反則負」の場合は、スコアをリセットし、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負」となった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦(ゴールデンスコア)を行い必ず勝敗を決する。

(3) 試合時間は、団体試合・個人試合とも4分とする。ただし、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。

## 11. 競技方法 (1) 団体試合

① 12 チームを4ブロックに分け、予選リーグを行い、各1位の4チームにより決勝トーナメントを行う。

② 試合は各チーム5名の点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。

③ リーグ戦の順位の決定は次による。

(ア) リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

b) a) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

c) b) で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

d) c) で同等の場合は、引き分けとする。

(イ) リーグ戦の順位は、2勝・1勝1分・1勝1敗・2分・1分1敗・2敗の順とする。

(ウ) (イ) で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

(エ) (ウ) で勝ち数の同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(オ) (エ) で勝ち数の同じ場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(カ) (オ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(キ) (カ) で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

(ク) (キ) で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

(ケ) (ク) で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

(コ) (ケ) で同等の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。

(サ) (コ) で同等の場合は、代表戦を行う。

④ トーナメント戦の順位の決定は次による。

(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ)(ア)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(ウ)(イ)で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(エ)(ウ)で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(オ)(エ)で同等の場合は、代表戦を行う。

⑤ 代表戦において、両試合者が「同時一本」、「同時反則負け」を得た場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

⑥ 3位決定戦は行わない。

(2) 個人試合

① 体重別のトーナメント方式で行う。

② 3位決定戦は行わない。

12. 組合せ 別紙組合表による。

13. 抽選方法 団体試合は令和4年8月27日(土)に、個人試合は令和4年8月9日(火)に下記抽選方法により、主管団体の責任において決定し、その結果は直ちに各チームに通知する。

(1) 団体試合

① 前大会1位から3位の高専が出場した場合のみシード校として取り扱う。「地域シード制」は取らない。

② 同地区代表が準決勝まで対戦をしないように抽選を行う。なお、同地区校の対戦については事前の専門委員会会議にて抽選方法の確認を行い、その結果を代表者会議にて抽選の前に周知することとする。

(2) 個人試合

① 前大会1位から3位の選手が同階級に出場した場合のみシード選手として取り扱う。「地域シード制」は取らない。

② シード選手が2名の場合、互いに勝ち進んだとき決勝で対戦するようにする。シード選手が3名以上の場合、互いに勝ち進んだとき準決勝で対戦するようにする。ただし、上位2名のシード選手が互いに勝ち進んだとき決勝で対戦するようにする。

③ 各地区大会1、2位選手(開催校選手を含む)同士、同一校選手は、原則として決勝戦まで対戦させない抽選を行うこととする。

大会に関する事、組合せ等で運営に支障をきたすことが明らかな場合は、専門委員会でこれを考慮する場合がある。

14. 表彰 (1) 団体試合は、第1位のチームに賞状、文部科学大臣杯、全日本柔道連盟杯、メダルを授与し、第2位、第3位チームに賞状、メダルを授与する。

(2) 個人試合は、第1位～第3位の選手に賞状、メダルを授与する。

15. 参加料及び納入方法

団体試合は1チーム12、600円、個人試合(団体選手と重複する場合は不要)は、1名1,800円とする。参加申込と同時に振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

金融機関名 百十四銀行栗林支店

口座種別 普通預金

口座番号 1428250

口座名 第57回全国高等専門学校体育大会 柔道競技

香川高等専門学校 学務課長 三谷雅恵

(フリガナ) ダイ 57 カイゼンコクコウトウセンモンガッコウタイイクタイカイ

ジュウドウキョウギ カガワコウトウセンモンガッコウ

ガクムカチョウ ミタニ マサエ

16. 参加申込 (1) 申込期限 令和4年7月28日(木) 必着

(2) 申込先 香川高等専門学校高松キャンパス 学務課内

第57回全国高等専門学校体育大会 柔道競技事務局

〒761-8058 香川県高松市勅使町 355

TEL : 087-869-3833 FAX : 087-869-3839

MAIL : gakuseishien@t.kagawa-nct.ac.jp

(3) 申込方法 地区大会終了後、所定の参加申込用紙に必要事項を記入の上、簡易書留等にて上記事務局宛送付すること。

17. 代表者会議(1) 日時 令和4年8月27日(土)12:30

(2) 場所 高松市総合体育館 大会議室(第5・第6会議室連結)

(3) 出席者 監督・主将(団体戦出場校)及び大会役員

18. 開会式及び閉会式

(1) 開会式 令和4年8月27日(土)競技会場で行う。

(2) 閉会式 令和4年8月28日(日)競技終了後、競技会場で行う。

19. 宿舎 別途通知し、斡旋する。

20. 新型コロナウイルス感染症対策

別途一般社団法人全国高等専門学校連合会が定める「全国高等専門学校体育大会における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関するガイドライン」によるほか、(公財)日本スポーツ協会における競技団体別ガイドライン等の感染拡大予防対策を行い運営するものとする。

参考：(公財)全日本柔道連盟における「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針(Version6、22.5.20)」<https://www.judo.or.jp/news/503/>

21. その他
- (1) 選手は、全日本柔道連盟現行もしくは新規格の柔道衣を着用し、規程のゼッケン(横 30±3 cm, 縦 22±3 cm)を付けること。
  - (2) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。ただし、脳しんとう・皮膚真菌症(トランズランス)に関しては次のとおりとする。
    - <脳しんとうにおける扱い>
      - ①大会 1ヶ月前に脳しんとうを受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
      - ②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
      - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
      - ④当該選手の指導者は、大会事務局に対し、書面により事故報告書を提出すること。
    - <皮膚真菌症(トランズランス)における扱い>

皮膚真菌症(トランズランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関での確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。疑わしい場合には大会長に申告の上、指示を仰ぐこととする。
  - (3) 試合場におけるコーチの振る舞いについては、平成 24 年 4 月 1 日付け全柔連通達事項を厳守すること。
  - (4) 健康保険証を持参すること。
  - (5) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
  - (6) 競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通じて大会事務局(gakuseishien@t.kagawa-nct.ac.jp)に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。
  - (7) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。